

新聞社・洛南タイムス掲載

京田辺

お気に入りコーデで颯爽と

キラキラ ファッションショー
商店街で

地域で忘れられない思い出を作ってほしいと、京田辺市の「キララ商店街」で10日、「キララファッションショー」が開かれた。子供たちがお気に入りの服に袖を通してランウェイを歩き、まちを華やかに彩った。

京田辺の活性化に取り組む同志社女子大の学生でつくる仮想企業「HIKAMAKER（ヒカメーカー）」（川角頭那代表、7人）が開催した。初めて同市のまちなかで開かれたファッションショーに、さまざまな用途で利用できる。袋を鍋で温めている間は、総務課安全安全係長の田村敬さんが防災に関する講義を行った。地震、水害、それぞれ避難する時の注意点や、普段から3日分ぐらいの食料を備蓄しておくことなどが伝えられた。

出来上がったあとは、親子で仲良く昼食を楽しんだ。地域住民が提供した焼きイモも振る舞われ、秋の行楽気分を味わった。

【写真】非常時にも役立つ袋ご飯を味わう親子連れ

モデル顔負けのスマイルでランウェイを歩く



は、1歳から11歳の15組28人が参加した。ダンスやアニメキャラクターなどに扮（ふん）する組もあり、とっておきのコーディネートに身を包んだ子供たちは、手を振ったり飛び跳ねたりしながらレッドカーペット上を歩いた。風爽と決めポーズを取ると、保護者や観客から盛んにシャッターが切られた。川観音（のの）さん（10）は、同じ市立松井ヶ丘小5年のピーチ、ラスベリー、チェリン、同女大のミスキャンパス最終候補の5人が

審査員となり、オープニングではデモンストレーションでモデルウォークを披露した。会場ではこの他、同女大生らがボランティアで協力し、フェイスペイントやヘアアレンジ

コーナーが設けられた。「キララちゃん」やミスキャン、スタッフと撮った写真を缶バッジにして渡す特別企画もあり、親子連れなどでにぎわった。



同女ミスキャン候補者（両サイド）からコーディネートのこだわりを聞かれる「オシャレガールズ」



モデルデビューに向け気持ちをつくる女兒（フェイスペイントコーナー）